63 期生

３年生学年だより

豊中市立第五中学校　2016 年４月 12 日(火)　No.3

～離任式がありました～

４月 11 日(月)、第五中学校を離任された先生方からの最後のお話がありました。体育館に集まり、お世話になった先生方からのお話を聞きましたが、とても真剣に静かに聞くことができていたと思います。お話の一部ですが載せたいと思います。

◆古谷先生

５年間五中にお世話になりました。楽しかったことや辛かったことがありましたが、今思い返すとても幸せに過ごすことができたと思います。授業は旧３年生を持っていたので、バドミントン部の人以外で私のことを知っている人があまりいないかもしれませんが、そんな中でも今日声をかけてくれた２年生もいてうれしく思いました。

学校生活で１番大切な事は“信じあうこと”だと思います。この人よく分からないな、と思ったとしても、「信じてみよう」とか「もしかしたら面白い人かも！」というようにお互い信じあう心を持ってください。人付き合いが苦手な人もいるかもしれませんが、五中の温かい雰囲気の中で最後まで過ごしてほしいなと思います。

◆宮崎先生

これから先の３年間、みなさんにはいろいろな変化があると思います。その変化というのは人によっては“成長”であったり“課題”であったりするのかもしれません。しかし、みなさんにとっての変わらないもの、それは“校舎”です。綺麗な校舎と共に、そしてまわりにいる仲間と共に、良い関係をつくっていってほしいと思います。

新３年生のみなさんとは、直接関わりがありませんでしたが、クラブや委員会などでみなさんの姿を見ていました。１年生のときからみなさんの姿を見ていましたが、努力をし続けることができるみなさんのことを僕は尊敬しています。みなさんだったら、このまま良い卒業式をむかえることができると思います。頑張ってください。

◆守口先生

私は教師歴が長いですが、それでもみなさんの前に立ってしゃべるとなると今でも緊張します。しかし、こうしてみなさん２，３年生の知っている人たちの顔を見ると、気持ちが落ち着いてきました。

五中はとても恵まれた環境だと思います。転勤先の学校では、生徒数も多いので体育館もギリギリに整列したりなど、校舎の色々なところで狭さや、古さを感じたりします。それにくらべると五中はとても綺麗で、改めて凄い学校だなと感じました。これからも美しい学校を大事に使っていってほしいと思います。

◆藤本先生

４年間五中にお世話になりました。去年は全体指揮を担当していたので、前に立ってみなさんの姿勢のことなど細かく声を掛けさせてもらったこともあったと思います。今日、みなさんはとても良い姿勢だと思います。一人一人良いスタートをきることができているようなので、そのまま良いゴールを迎えてほしいと思います。去年注意した点を守って頑張ってください。

バレー部のみなさんはまた試合会場で会うと思いますが、これからも頑張ってください。

◆長尾先生

去年の英語の授業は反省することがたくさんありました。もっとみなさんの話を聞いたらよかった、もっと声をかけたらよかったと感じました。でもそんな中で、私がうれしかったことがあります。「先生、大変かもしれないけど、頑張ってください。頼りにしています。」というあたたかいメッセージをもらったことです。私は失敗ばかりしていたのですが、はげましてくれる人がいてくれたということで、とても元気をもらいました。言葉というのは人を元気にしたり、勇気付けたりする力があります。

「私の歩みは遅い。しかし、決して後戻りはしない」

なかなかうまくいかないことがあっても、前向きに、前進してほしいと思います。

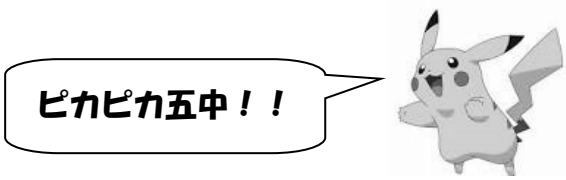
◆澁谷先生

五中では６年間お世話になりました。これまでに、いろいろな五中生から話を聞いたり、相談されたりしてきました。友人のこと、付き合っている人のこと、家の人のこと、クラブのことなどがありましたが、ほとんどが人間関係の悩みが多かったように感じます。人は、人と人との関係のなかで生きています。１人では生きていけません。私も中学生の時、人間関係で悩んだ時期がありました。そんな中でたった１人、声をかけてくれた人がいて、しんどい気持ちが楽になったということがありました。人は人によって助けてもらうことができるので、もし、今しんどそうにしている人がいたら、勇気を持って声をかけてあげてほしいと思います。

◆石田さん

私は事務の仕事をしていたので、あまりみなさんと接する機会がありませんでしたが、こうして前に立ってみると「いっしょに掃除したな」とか、「吹奏楽部で見かけたな」とか「廊下で声をかけてくれたな」と思い出すことがたくさんありました。

４年前に五中に来た時は、まだ校舎も立て替え中で、わくわくしながら新しい校舎に入ったのを覚えています。みなさんも、わくわくした気持ちでこの綺麗な五中に入学してきたのではないでしょうか。みなさんも、綺麗な校舎を綺麗なまま、次の世代へと残していってほしいと思います。

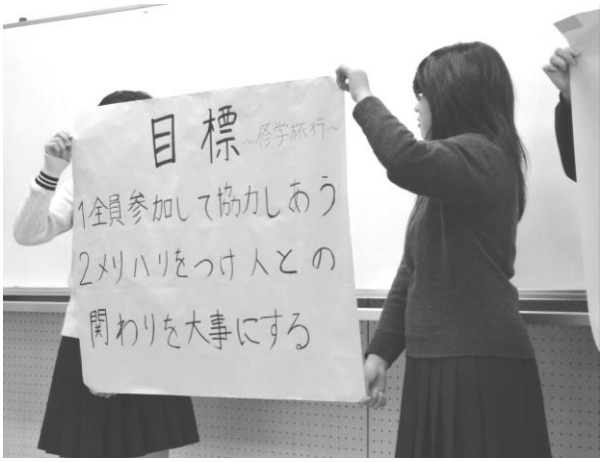


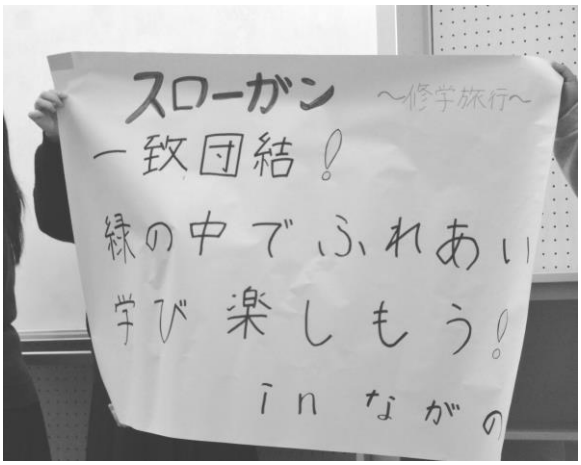
～学年集会の様子～

４月 11 日(月)３時間目に学年集会がありました。修学旅行委員さんからのお話と、新しく学年の所属になった平野先生と中先生、そして最後に進路のことについて齊喜先生からのお話がありました。

始業式では集合した後いつまでもうるさい人や途中でしゃべってしまう人などがおり、学年としてはとても残念でした。学年で集合する時にも言えることですが、言われなくとも自分達で考えて行動する、ということを心掛けてください。

まだ２日目とはいえみなさんは３年生！！経験が無くとも、指示が無くとも考えて動く、ということは今後も必要となってきます。また、仮の議員さんの指示ばかりに頼らず、「まっすぐに整列して座る」など、分かりきっている動きなどは自分達で声を掛け合って行動し、みなさんで協力していきましょう。





～修学旅行委員さんより～

湖畔学舎でも目標としていた全員参加ができなかったので、次こそは全員参加したいという思いで目標の中に入れました。協力し合うというのは新しいクラスになってどういう思いなのか一人一人ちがうと思うけど、このクラスや学年で楽しい修学旅行にするには協力しないとできないと思ったので、目標の一つに入れました。そして、全員がこの修学旅行に参加することであまり話したことない人とかと話せたり、新たな一面を見ることができたり、一人一人のいろんな思い出ができると思います。

もう１つは「メリハリをつけ、人とのかかわりを大事にする」です。これを目標にした理由は、やるときはやる。楽しむ時は楽しむ。と、全員がメリハリをつけて行動し、今まであまり関わらなかったひとたちに積極的に話しかけることで、この修学旅行がよりよいものにしていけると思ったからです。

「まあええわ」が「もうええわ」に変わらないよう、**絶対に気を抜かない。**